

だい かいしゅう どうじょう 第6回省エネ道場まとめ

しぜん と エネルギー と 人間 自然とエネルギーと人間

1 しぜん さいがい 自然と災害

ことし たいふう にほん せっきん おお ひがい たいふう
今年も、台風が日本に接近し、大きな被害をもたらしました。また、台風
だけでなく、かざん ぶんか ひて しぜんさいがい
火山の噴火や日照りなど、さまざまな自然災害があります。
さいがい ふうせ ひがい すく くふう たいせつ
災害を防いだり、被害を少なくすませる工夫が大切です。

2 ちきゅう でんき 地球のエネルギーを電気に

ところで、にんげん べんり でんき つか
ところで、人間は、便利なエネルギーとして「電気」を使っています。
これまで、せきゆ せきたん も でんき つく
これまでは、石油や石炭を燃やしたりして電気を作ってきました。しか
し、せきゆ せきたん も ちちゅう にさんかたんそ たいきちゅう
石油や石炭を燃やすと、地中であつたものが二酸化炭素として大気中
ほうしゅつ ちきゅうおんだんか い
に放出されてたまってしまい、地球温暖化につながると言われていま
す。

さいきん にさんかたんそ はいしゅつ かぜ みず ちねつ たいようこう
そこで最近では、二酸化炭素を排出しない、風、水、地熱、太陽光な
ど、さいせいかのう つか でんき つく
「再生可能エネルギー」を使って電気を作ることがすすめられていま
す。

3 ちゅうどよく く くらす 工夫 「ちょうどよく」暮らす工夫

かぜ みず ちねつ たいようこう でんき か はんめん ときお
風、水、地熱、太陽光などは、電気に変えることができる反面、ときお
り強すぎてにんげん さいがい さいせい
り強すぎて人間にとっては災害となってしまうことがあります。「再生
かのう つか はつでん こうりつ たか くふう はじ
可能エネルギー」を使った発電の効率を高めることへの「工夫」が始ま
っています。さらに、はつでん あわ しぜんさいがい ちきゅうおんだんか たいさく
発電と併せて、自然災害や地球温暖化への対策も
ゆういぎ
すすめられれば、とても有意義です。

でんき せつやく つか でんき
「電気を節約して使う」だけでなく、「電気はどのようにしてできるのか
がわかる」、「電気のもつ特徴がわかる」、そしてエネルギーの使い手とし
て「世界の持続可能性を かんが せんたく はんだん
て「世界の持続可能性を 考えて選択・判断できる」ようになってほしいと
思います。さらには、く ぜんたい よ あたら くふう かんが だ
「暮らし全体を良くしていく 新しい工夫を考え出せ
る」ようになってほしいと思います。